

基本構想において、これからのまちづくりは、地域の特性や可能性を再認識し、それを生かす施策を重点的に展開することが大切であるとの基本的考え方を示しました。

地方分権とは地域主権であり、釜石市全体の振興のためには市内の各地域の現状と課題を踏まえた上で、自分達が望む地域の将来像を住民と行政と一緒に描き、その実現に向けて役割分担していくことが必要です。

第五次総合計画の将来展望並びにまちづくりの基本目標の実現に向け、まちづくり座談会などにおける住民の声を基に、市域を5地区に分けて各地区の主要課題と重点的に取り組むべき施策の概要を次のとおり示します。

1 釜石地区

1) 地域概況

| 区 分 | 釜石地区 | 全市に占める割合 (全 市) |
|----------|--------------------|----------------------------------|
| 面 積 | 約46km ² | 約11% (441.27km ²) |
| 平成12年人口 | 19,196人 | 40.6% (47,293人) |
| 対平成2年減少率 | 13.6% | (11.6%) |
| 地域高齢化率 | 25.9% | (26.1%) |

各年10月1日現在の住民基本台帳



2) 地域の主要な課題

(1) 市街地の魅力向上

釜石地区の東部(旧釜石部)は、戦後の復興事業として県内に先駆けて道路や公園などの都市基盤整備が進められてきたため、商店街をはじめ市街地全般に老朽化の傾向が現われており、釜石の顔としての魅力向上が必要です。

(2) 公共的施設の更新拡充と土地の有効利用

釜石地区には市庁舎、魚市場など改築が必要な大型公共的施設が存在するほか、小中学校の統合やこれら公共的施設の移転に伴う跡地の有効利用も必要となっています。また、市街地や平田地区の大規模な遊休的土地は、産業振興等への活用が待たれています。

3) 地域の施策の方向

(1) 釜石地区のまちづくりの基本方向

釜石地区は、当市はもとより三陸沿岸地区、更に岩手県の内陸部と沿岸部との交流拠点であり、行政・教育文化等の都市機能、物流を含む産業業務機能の充実強化を進めるほか、中心市街地活性化基本計画に基づき、街並みの整備と商業の振興を図ります。

(2) にぎわいと活力ある産業が展開するまちに向けて

釜石駅周辺地区について、都市基盤の整備と民間活力の導入等による有効活用を促進し、にぎわいの創出を図ります。

老朽化が進む釜石魚市場をHACCPに対応した衛生的で機能的な施設として改築整備を推進します。

釜石魚市場の移転跡地を含む魚河岸地区を快適なウォーターフロントとして整備するための検討を進めます。

物流基盤の整備を生かして産業の振興を図るため、地権者と連携して平田埋立地、板木山地区、中番庫地区の有効活用に取り組めます。

(3) すべての人に優しい快適なまちに向けて

釜石地区は、人口と事業所が集中していることから、保育所や放課後児童対策の計画的な整備充実に取り組めます。

市民の健康増進と福祉サービスの中核機能を担う総合保健福祉センターの整備を進めます。

(4) 創造性豊かな人を育むまちに向けて

少子化に対応した教育環境の向上のため、地域内の小中学校の統合を進めます。

旧科学技術専門学校校舎を拠点として、生涯学習推進体制の整備を進めます。



シープラザ釜石

2 甲子地区

1) 地域概況

| 区分 | 甲子地区 | 全市に占める割合 (全市) |
|----------|---------------------|----------------------------------|
| 面積 | 約120km ² | 約27% (441.27km ²) |
| 平成12年人口 | 16,282人 | 34.4% (27,293人) |
| 対平成2年減少率 | 10.4% | (11.9%) |
| 地域高齢化率 | 27.3% | (26.1%) |

各年10月1日現在の住民基本台帳



仙人峠道路の整備効果を全市に波及させ、経済活動の活発化や市民生活の利便を向上させるため、関連する道路等の整備を促進します。

(3) すべての人に優しい快適なまちに向けて

公共水域の水質悪化を防止し、生活衛生の充実を図るため、生活排水処理施設の整備を進めます。

仙人峠道路の整備等に伴う甲子地区の交通量増大や生活環境の整備充実に向けた道路等の整備について検討を進めます。

(4) 創造性豊かな人を育むまちに向けて

釜石鉱山周辺などに分布する各種産業遺産の社会教育や地域づくり等への活用に向けて検討を進めます。

少子化に対応した教育環境の向上のため、地域内の学校の統合に向けた取組みを進めます。

2) 地域の主要な課題

(1) 西部地区の振興

甲子地区の東部(野田町以東)は良好な住環境の整備が進んでいますが、西部については、遠野市寄りの最西部は釜石鉱山の合理化により人口流出と高齢化が進んでいる一方で、東部寄りの地域では急速な住宅開発が進んでいるなど、仙人峠道路の開通を控えて秩序ある発展と地域振興策が求められています。

(2) 良好な環境の保全

地区を横断する甲子川は、鮎やヤマメなどの溪流魚の生息する川として親しまれているほか、市街地の景観形成にも重要な役割を果たしているため、市の貴重な自然財産として、この恵まれた環境を保全していく必要があります。

3) 施策の方向

(1) 甲子地区のまちづくりの基本方向

甲子地区は、仙人峠道路の開通により内陸部からの玄関口となる地域であることから、産業業務機能の向上と快適な生活環境の整備を図るため、適正な土地利用と都市基盤の整備充実を進めます。

(2) にぎわいと活力ある産業が展開するまちに向けて

西部の大橋地区及び大松地区の遊休的土地の活用について、地権者と連携して検討を進めます。

農家の収入増加と地域への交流人口増大のため、西部への地場産品直売施設の設置に向けて検討を進めます。

釜石鉱山の坑道の活用可能性をPRしながら、試験研究などの有効利用と遊休的な土地の活用を促進します。



仙人峠道路(仮称)釜石西I.C.予定地

3 鵜住居地区

1) 地域概況

| 区分 | 鵜住居地区 | 全市に占める割合 (全市) |
|----------|--------------------|----------------------------------|
| 面積 | 約66km ² | 約15% (441.27km ²) |
| 平成12年人口 | 7,770人 | 16.4% (47,293人) |
| 対平成2年減少率 | 8.1% | (11.6%) |
| 地域高齢化率 | 22.1% | (26.1%) |

各年10月1日現在の住民基本台帳



2) 地域の主要な課題

(1) 生活環境の向上

市中心部及び他地域への連絡道路が国道45号1系統であるため朝晩の交通渋滞が恒常化しているほか、人口増加に伴い無秩序に市街化してきたことから、地域内外を結ぶ交通網と生活環境の整備が求められています。

(2) 地域の保健福祉の向上

人口密集地区でありながら地域内に入院設備を備えた医療施設や長期入所型介護老人施設が立地していないほか、児童福祉や救急医療体制の向上も求められており、地域の総合的な保健福祉体制の充実が必要です。

3) 施策の方向

(1) 鵜住居地区のまちづくりの基本方向

鵜住居地区は、基幹産業としての水産業の振興を図るとともに、マリンスポーツも盛んな根浜地区及びその周辺の良好な環境を生かし、スポーツレジャーを含む保健福祉の充実を図るため、施設整備と快適な生活環境の創造を進めます。

(2) にぎわいと活力ある産業が展開するまちに向けて

漁業生産基盤の整備を推進するほか、漁業と観光との連携による特色あるグリーンツーリズムの創造を目指して展開されている地域の自主的な取組みを積極的に支援します。

深刻化する国道の渋滞問題の解決に向け、幹線道路の整備や右折レーン・歩道などの改良を促進するほか、あわせてソフト面の対策を進めます。

農工法導入地域に指定されている片岸地区の高度利用に向けた計画の策定を進めます。

(3) すべての人に優しい快適なまちに向けて

生活雑排水による海の汚染を防ぎ、生活衛生の充実を図るため、生活排水処理施設の整備を進めます。

鵜住居地区の住環境の向上のため、生活道路整備事業の早期完成に取り組みます。

鵜住居地区及び栗橋地区の防火対策の充実と救急医療体制の向上に向け、消防分署機能の整備に取り組みます。

児童福祉施設の改築整備を進めるとともに、子育て支援機能の強化を図ります。

特別養護老人ホーム及び障害者の通所授産施設の整備に向けて取り組みます。

(4) 創造性豊かな人を育むまちに向けて

少子化に対応した教育環境の向上のため、地域内の学校の統合に向けた取組みを進めます。

民間の自主的な企画運営で実績をあげている「はまゆりトライアスロン国際大会」を市の代表的なスポーツ行事として支援します。



根浜フィッシャリーナ

4 栗橋地区

1) 地域概況

| 区分 | 栗橋地区 | 全市に占める割合 (全市) |
|----------|---------------------|----------------------------------|
| 面積 | 約129km ² | 約29% (441.27km ²) |
| 平成12年人口 | 1,548人 | 3.3% (47,293人) |
| 対平成2年減少率 | 16.6% | (11.6%) |
| 地域高齢化率 | 32.5% | (26.1%) |

各年10月1日現在の住民基本台帳



2) 地域の主要課題

(1) 少子化・高齢化の進行

人口減に加え、集落によっては住民の過半数が高齢者というところもあり、地域のコミュニティの維持と活力の向上が求められています。

(2) 地域医療の確保

栗橋地区には医療機関がなく、救急車の到着にも相当の時間を要することから、安心して暮らすことのできる地域医療体制が求められています。

3) 地域の施策の方向

(1) 栗橋地区のまちづくりの基本方向

栗橋地区は、基幹産業である農林業の振興と生活環境の充実を図るとともに、豊富な歴史的資源と恵まれた環境、山里の生活文化を有する地域の特性を踏まえ、これを守り伝える住民の取り組みや地域づくりを積極的に支援します。

(2) にぎわいと活力ある産業が展開するまちに向けて

地域の基幹産業である農業の振興に努め、休耕田を活用した豆や無農薬野菜などの高付加価値農産物の生産を促進します。

農家の収入増加と地域への交流人口増大のため、加工品開発と生産体制の整備、産地直売機能の充実を支援します。

市中心部及び近隣市町と地域を結ぶ主要地方道などの道路整備を推進します。

(3) すべての人に優しい快適なまちに向けて

生活雑排水による河川の水質悪化を防ぐため、生活排水処理施設の整備を進めます。
生活の足となる交通手段を確保するため、バス路線の維持に努めるとともに、地域の交通環境向上に向けた総合的な取組みについて検討を進めます。

栗橋地区及び鶴住居地区の防火対策の充実と救急医療体制の向上に向け、鶴住居地区の消防分署機能の整備に取り組みます。

(4) 創造性豊かな人を育むまちに向けて

少子化に対応した教育環境の向上のため、地域内の学校の統合に向けた取組みを進めます。
釜石学とエコミュージアム構想の先導的地域として、住民の取組みを積極的に支援します。



橋野どんぐり広場

5 唐丹地区

1) 地域概況

| 区分 | 唐丹地区 | 全市に占める割合 (全市) |
|----------|--------------------|----------------------------------|
| 面積 | 約81km ² | 約18% (441.27km ²) |
| 平成12年人口 | 2,497人 | 5.3% (47,293人) |
| 対平成2年減少率 | 10.6% | (11.6%) |
| 地域高齢化率 | 28.0% | (26.1%) |

各年10月1日現在の住民基本台帳



(3) すべての人に優しい快適なまちに向けて

地域の簡易水道の充実強化を進めます。
生活雑排水による公共水域の水質悪化を防ぐため、生活排水処理施設の整備を進めます。
生活道路や国道からの取付け道路の整備充実を促進します。
子供や高齢者の移動手段を確保するため、バス路線の維持に努めるとともに、地域の交通環境向上に向けた総合的な取組みについて検討を進めます。

(4) 創造性豊かな人を育むまちに向けて

地域の学校統合の取組みが進んでいるので、更に少子化の進行に対応した教育環境の充実に努めます。
総合型地域スポーツクラブ構想の先導的地域として、住民の取組みを積極的に支援します。

2) 地域の主要課題

(1) 良好な環境の保全

唐丹地区は、自然の恵みを生かした水産業を基幹産業とする地域ですが、雑排水による河川や海の水質悪化が懸念されることから、生活環境の向上と水産業振興に資するため、地域の良好な環境を保全する取組みが求められています。

(2) 地域交通の確保

唐丹地区は、国道と各集落との連絡道路が脆弱であるほか、市中心部等と地域を結ぶバス路線の増強が求められています。乗車人員から増便は困難な状況であり、生活道路の整備とともに地域の交通手段確保が課題となっています。

3) 地域の施策の方向

(1) 唐丹地区のまちづくりの基本方向

唐丹地区は、地域の過半数の世帯が水産業に従事している状況を踏まえ、基幹産業としての水産業の振興と生活環境の充実に取り組むとともに、恵まれた環境を生かす地域づくり活動を積極的に支援します。

(2) にぎわいと活力ある産業が展開するまちに向けて

地域水産業の振興のため、唐丹湾の中心的産業の養殖業の維持発展と漁港施設の計画的な整備を促進します。

槽ノ木平牧場の有効活用に向け、用地及び施設の取得を進めます。



桜まつり大名行列